



広島市の子ども施策は どうして、なんでもかんでも 全国最低レベルなのか

子どもたちにとっては、待ちに待った夏休み。保護者にとっては、お弁当をつくらなくてはならない、ちょっと大変な夏休みかもしれません。

今回は、広島市の子ども施策を考えます。市外から引っ越してこられた方がまず驚くのが、子ども医療費制度です。その他も何でもかんでも全国最低レベル。市連協はそのおおもとにある政策文書を“発掘”しました（詳細は2面）。

政令市ダントツ最下位の子ども医療費制度

子ども医療費補助制度（右表）は、20政令市中15市が対象を18歳または高卒までとしています。所得制限があるのは広島市を含む5市。広島市は所得制限を2重の制度にし「一部負担」（窓口負担）は政令市で最も高くなっています。

広島市が通院を「中卒」までにしたのは、やっと今年の1月。対象が中卒までで、所得制限があり、一部負担の3つがそろっているのは広島市のみで、制度は政令市でダントツ最下位になっています。

全国では、県の制度として、対象を高卒・中卒にしているところが多く、市町村はそれに上乗せ施策により対象を大学生・大学院生までにしているところもあります。広島県は、対象を未就学児までにしています。広島市の遅れには県の責任も重大です。

子ども医療費だけでなく、経済的に困難をかかえる世帯を支援する「就学援助」は、全国の市町村で最も対象を狭めています。学校給食は、自校調理方式を廃止して市内5カ所の民間大型給食センターからの配送給食にかわります。すでに佐伯区はそうになっていますし、現在、安佐北区・安佐南区の一部で着々と準備がすすめられています。（2面につづく）

子ども医療費制度の政令市比較

	対象	所得制限	一部負担
札幌市	通院・中卒 入院・高卒	あり	あり
仙台市	中卒まで	なし	あり
千葉市	高卒まで	あり	あり
さいたま市	高卒まで	なし	あり
横浜市	中卒まで	なし	なし
川崎市	中卒まで	なし	なし
相模原市	高卒まで	なし	あり
浜松市	高卒まで	なし	あり
静岡市	高卒まで	なし	あり
名古屋市	18歳まで	なし	なし
新潟市	高卒まで	なし	あり
京都市	中卒まで	なし	あり
大阪市	18歳まで	なし	あり
堺市	高卒まで	なし	あり
神戸市	高卒まで	なし	あり
岡山市	高卒まで	なし	あり
広島市	中卒まで	あり	あり
北九州市	18歳まで	なし	あり
福岡市	高卒まで	なし	あり
熊本市	高卒まで	なし	あり

署名

署名にご協力ありがとうございました。ご協力いただいた署名用紙は、夏休みが終わるまでには、「生活ノート」とともに指導員に渡してください。10人分うまっていなくてもかまいません。署名用紙はホームページからダウンロードできます。

